



2018年4月26日

各位

会社名 住友ベークライト株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 茂
(コード番号 4203 東証第1部)
問合せ先 総務本部長 本多 範義
(TEL 03-5462-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

2018年3月期期末決算より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用すること、および直近の業績動向を踏まえ、2017年5月15日に公表した2018年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:百万円)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	210,000	—	—	—	11,500	48.87 円 銭
今回修正予想(B)	211,800	19,200	18,500	19,400	15,000	63.74 円 銭
増減額(B-A)	1,800	—	—	—	3,500	
増減率 (%)	0.9	—	—	—	30.4	
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期通期)	198,100	16,658	12,061	12,715	9,521	40.45 円 銭

- (注) 1. 通期連結業績予想はIFRSに基づき作成しております。
2. 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除して算出しております。
3. 前回公表した日本基準による「営業利益」は、IFRSによる「営業利益」と構成が異なるため、前回発表予想欄において「—」としております。
4. 前期実績はIFRSによる金額（監査前）を記載しております。

2. 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、半導体関連市場においては車載向け、産業向けと各分野で需要が高く、自動車関連市場においても南欧を中心とした欧州や中国で販売が増加しました。

加えて、米国およびベルギーの法人税の税率引き下げに伴う繰延税金負債の取り崩しをおこなうこととなり、親会社の所有者に帰属する当期利益は期初に公表した予想を35億円上回る見込みとなりましたので、通期業績予想を修正いたします。

以上